



Technical Diving
Software for

Galileo

User Manual

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 概略 | 1 |
| 警告 | 1 |
| アップデート | 2 |
| 1. ガリレオ標準SWとTec SWの違い | 2 |
| 1.1 Uwatec ZH16-ADT DD | 2 |
| 1.2 Trimix | 2 |
| 1.3 10本のタンク | 2 |
| 1.4 最小および最大行動可能深度 | 3 |
| 1.5 N2(窒素)ならびにHe(ヘリウム) に対するPDIS | 3 |
| 1.6 酸素毒性ユニット(OTUs) | 3 |
| 1.7 浮上速度 | 3 |
| 2. ガリレオTec SWを使用したダイビング | 3 |
| 3. ダイビングのあとに | 5 |
| 3.1 ログブック | 5 |
| 4. 設定 | 6 |
| 4.1 Trimixを可能にする | 6 |
| 4.2 タンクの設定 | 7 |
| 4.3 OTU | 9 |
| 4.4 Trimixバージョン情報 | 10 |
| 4.5 Tec SWに関する追加情報 | 10 |
| 4.6 ガリレオTec SWの限界値 | 11 |
| 5. SmartTRAK (PC Interface) | 11 |
| 6. 用語集 | 11 |



ガリレオ トライミックス ソフトウェアご使用時の注意

ダイビング中に圧縮空気またはEAN ナイトロックスで呼吸をすると、ダイバーはある一定レベルのリスクを受けます。ダイビング中にトライミックスガスあるいは他のミックスガスで呼吸をすると、リスクレベルはさらに増大します。

当社は、あらゆる関連データとTrimixダイビングにおける高気圧研究成果を利用して、Trimixアルゴリズムのリスクレベルを可能な限り低い許容レベルにまで落とし込んできました。とは言うものの、このTrimixアルゴリズムを使ったダイビング中であれば、ナイトロックス・トライミックス・ミックスガス・圧縮空気で呼吸しても、減圧症・酸素中毒などから重傷・死亡につながるリスクが排除・防止されるなど、何ら保証するものでもありません。

当社のダイブコンピュータでこのTrimixアルゴリズムを使用するTrimixダイバーは、そのリスクレベルを意識しなければなりません。そして個人のリスクを受け入れ、種々のリスクに対する法的責任を負わなければなりません。もしダイバーが重傷や死亡を含め、こうしたリスクを受け入れるつもりがなければ、Trimixソフトウェアを用いたダイビングは行わないでください。

たったひとつの情報源でああなたの生命のリスクを侵してはいけません。最終的に全てのコンピュータは間違える可能性を秘めています。一方的に依存せず、常に障害を処理する為のプランを持つことです。2台目のコンピュータを使用するか、バックアップテーブルと深度/時間を計測する器材を所持してください。よりリスクの高いダイビングを行う場合、この種のダイビングに必要とされる技術的なスキルや経験を得る為、認定機関から適切なトレーニングを受ける必要があります。コンピュータテクノロジーは、知識とトレーニングに代わることはありません。

概略

このユーザーマニュアルでは、ガリレオテクニカルソフトウェアバージョン（ここでは "Tec SW" と呼ぶ）の設定方法やガリレオのメインユーザーマニュアルとの違いについて説明いたします。アップデートやガリレオTec SWを使用する前に、**まずガリレオのメインマニュアルを熟読し理解しておく必要があります。**

ご購入時にガリレオ本体に添付されていた標準ソフトウェア（以下、標準SW）は、安全なレクリエーションダイビングに必要とされるすべての機能を網羅していますが、それに対し**ガリレオTec SWは経験豊富なダイバー向けに開発されています。**

注意

メニュー、警告、Tec SWの新機能などが追加されることによって、ガリレオダイビングコンピューターのご使用はより複雑化する恐れがあります。**真剣にテクニカルダイブを行うのでなければ、Tec SWへとアップグレードせずにガリレオ標準SWを継続使用してください。**

Tec SWを使用する前に、テクニカルダイビングにおける公認のトレーニング機関で然るべき認定を受けなければなりません。減圧ダイビング、高濃度酸素でのダイビング、マルチガスダイビング、ミックスガスダイビングなどこれら全てに要求されるスキルとノウハウは特別なトレーニングや教育により提供されます。ダイブコンピューターは電子器材であり、ダイビング中にダイバーへ決定を下すことも、全ての重要な判断要素を取得することもできません。テクニカルダイビングにおいて、ダイブコンピューターはダイビング中に従うべき最上位器材とはなりません。ダイビングの前にはプランを立て、ダイビング中はそれに従ってください。プランとコンピューターが異なるスケジュールを示す場合は、より保守的な方に従ってください。



警告

Tec SWをインストール後に再びガリレオ標準SWに戻す場合、SWのバージョンは1.7かそれ以上のバージョンナンバーとなります。以前と同じ低いバージョンナンバーを再インストールすると、異なるメモリを使用しようとするために、ダイブコンピューターがロックアップして正常に動作しない恐れがあります。



警告

ダイビングは多くの固有のリスクがあります。どれだけ注意深くこのマニュアルの指示に従ったとしても、ナイトロックス・トライミックス・混合ガス・圧縮空気による減圧症、酸素中毒、その他いくつかの固有のリスクによって深刻なけが又は死亡にいたる恐れがあります。これらのリスクを完全に理解したうえで、それに対する責任を引き受ける覚悟が無ければ、Tec SWを使用してはいけません。

注意事項

このトライミックスモデルとトライミックスダイビングはともに、健康的かつ身体能力のある上級ダイバーのために開発されています。ダイビングに備えて身体適性をしっかり確認し、専門の医師と定期的な健康診断を行ってください。テクニカルダイビング以上にこれは重要なことです。

複雑なダイビングを行う場合、耐性は非常に重要な特性となります。これまでのダイビング経験に基づき個々の水深限度と減圧量を形成していくにも、以後さらなる経験により少しづつ増量していくにもこの耐性が不可欠です。

Tec SWは商業ダイビング向けには設計されていません。水面へのガス供給・スーツへの暖房・チャンパーまたはベルでの減圧・長きにわたる高負荷ダイビングといった特別行為は、アルゴリズム計算を狂わせ、ガリレオダイブコンピューターの作動をも妨げる恐れがあります。

バックアップ器材なしで潜ってははいけません。ダイビングテーブルと同様に、水深、時間、タンク圧を計測できるバックアップ器材を常備することは必須です。

事前にダイブプランを立て、もうひとつの商業用プランナー・プログラムまたはテーブルと事前プランをクロスチェックします。ダイブプランは常に緊急事態および浮上遅延に対処するために十分なリザーブガスを考慮する必要があります。複数のテーブルから、つねに救済措置を考慮してください。

テクニカルダイビングは誰も彼もできるものではありません。特にヘリウムミックスを伴う減圧ダイブでは、一生涯にわたる損傷や死亡にいたる事故の可能性を常に秘めています。そのリスクは、個々の身体条件、環境条件、人為的ミス等の違いにより、さらに増大する可能性があります。そのリスクをひきうける覚悟のないダイバーは、決して潜ってはいけません！

アップデート

Tec SWは、通常のソフトウェア・アップデートのようにどのガリレオコンピュータにもダウンロードすることができます。

Trimixアップデート最新版はSCUBAPRO正規代理店またはscubapro.comより入手いただけます。

注意

Tec SWアップグレードは、ヘリウムでのアルゴリズム使用を可能にするだけです。PMGアップグレードをしていないガリレオLunaをお持ちの場合、Tec SWが複数のタンクを使用可能にすることはありません。Tec SWにアップグレードする前に、別途PMGアップグレードを行う必要があります。

1. ガリレオ標準SWとTec SWの違い

1.1 Uwatec ZH16-ADT DD

長年、ウワテックはレクリエーションとナイトロックスコンピュータにBuhlmann ZHL-8ADTモデルを使用し成功を納めてきました。Trimix/バージョン用には、それをベースとしたアルゴリズムZHL-16が使用されてきました。広く使用され、参照されてきたこのテクニカルダイビング向けのアルゴリズムは、バージョンDDとなり、各体内組織中間レベルの飽和状況が表示されるようになりました。勾配要因がより保守的なモデルを調節するためにオリジナルのZHL-16と同様、UwatecはMBのレベルを使用しています。標準MBレベル・セッティングは3です。



図1-ダイブプロファイルに対するMBレベル・セッティングの影響

MB 0=青色、MB3=黄色、MB5=茶色

またアルゴリズム開発における当社の経験も、Trimix/バージョンへと統合され個々のダイバーおよびダイビング計画に見合うようにカスタマイズされてきました。テクニカルダイビングにHeart Rate機能を用いる場合、Uwatecはワークロードを機能させることを勧めます。ダイビングが計画通り行えていれば、減圧予定に影響はありません。しかし、ワークロードが高い時は、より多くの減圧時間が必要となります。

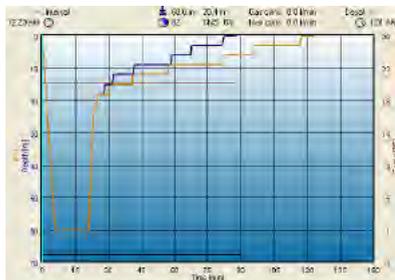


図2-ダイブプロファイルにおけるワークロード結果
低ワークロード=青色、高ワークロード=茶色

適応可能なアルゴリズムは、水温、ワークロードとマイクロバブルを計算にさらに取り込みます。

1.2 Trimix

Tec SWは、標準的なテクニカルダイビングガスミックスを使います。

表記の仕方：酸素% / ヘリウム%

たとえば、酸素18%とヘリウム40%をミックスを18/40と示します。

1.3 10本のタンク

テクニカルダイビングでは、特にトライミックスの配合比と減圧効率が非常に重要になります。高ヘリウム含有量かつ低酸素含有量のガスミックスは減圧にはそれほど適していません。たとえば、空気またはNitroxがボトムガスとして使われるとき2つの減圧混合物だけでほとんどの場合に十分とされる場所、トライミックスの場合、適切なガス排出のためにさらに多くの減圧混合物が必要とされます。ガスが使用される順序は、ガリレオ標準SWのように酸素含有量に応じて制限されていません。PMGは、与えられた絶対最小深度 (AMD) と最大行動可能深度 (MOD) の値に応じてガスの使用を選別し提案します。ガリレオメインマニュアルに記載されているように、ダイバーは手動でもミックスを切り替えることができます。



警告

ダイビング中は、酸素摂取量が適切でなかったり、水深に応じ酸素中毒をおこすことがあるため、手動でガスを選択できるようになっています。起こりうる緊急事態に備え、コンピュータがガス選択を制限することはありません。不適切なガスを選択すると、死亡または重傷に至る可能性があります。

1.4 最小および最大行動可能深度

絶対最小深度 (AMD) と最大行動可能深度 (MOD) は、ミックス中の酸素含有量から計算されます。ユーザから与えられた ppO₂ は、酸素割合によって分割されています。結果は、深さに変換される圧力になります。最小 AMD は酸素割合が空気より小さいガスミックスにのみ適用されますが、最大の MOD は、全てのガスに対して有効です。

注意

空気 (21/0) は、たとえば Trimix 21/10 とは異なる MOD を与えます。理由はガリレオが空気中の酸素に対し、より正確な数値を扱うためです。そして、それは 20.7% です。

1.5 N₂ (窒素) ならびに He (ヘリウム) に対する PDIS

プロファイル従属型中間停止 (PDIS) は、メインマニュアルに記載されたように、窒素とヘリウム・ガスの両方に適用されます。PDIS が可能な時、最適なガス排出深度が表示されます。PDI Stop は義務ではありませんが、形成されてゆく気泡を減らす一助となり得ます。

1.6 酸素毒性ユニット (OTUs)

長い減圧潜水の間、高い酸素濃度がダイバーの身体に比較的長い時間にわたり蓄積されていきます。そこで、監視しなければならない 2 つのリミット値があります；

- 中枢神経系 (CNS) 時計

- ※メインマニュアルに記載

- 酸素毒性ユニット OTU

- ※OTUの適用範囲については、NOAA値が使用されます

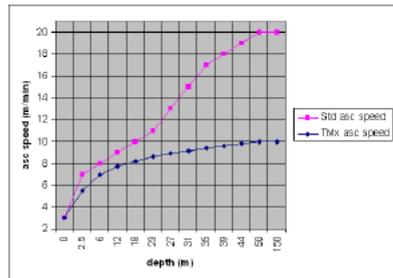
1.7 浮上速度

最適浮上速度とは、体内組織へのさらなる酸素飽和を防ぐために遅すぎない速度、かつ組織中の気泡形成を防ぐために早すぎない速度のことを指します。混合ガスで減圧ダイブを行う場合、これは重要な要素となります。ガリレオでは、深くなるにつれ速い浮上速度を勧め、浅くなるにつれ遅い浮上速度を勧めています (浮上速度警告を参照)。アラーム警告は、最適浮上速度を超える浮上速度に対してのみ表示されますのでご注意ください。

最大許容浮上速度はガリレオ標準SWに比べて低減されています。トライミックスが無効になっている場合は、標準SWの浮上速度が使用されます。TMx設定を有効にするとより遅い浮上速度が使用されます。

注意

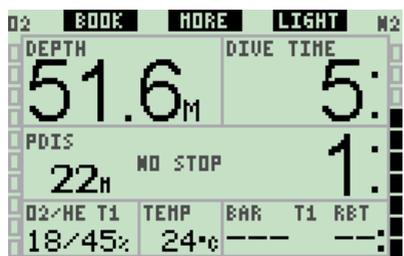
浮上速度は総潜水時間 (TAT) に合算されます。



2. ガリレオTec SWを使用したダイビング

警告:ガリレオとトライミックスダイブを実行する前に、インターフェイスとダイビングコンピュータの機能に慣れるために、ノンストップレクリエーションダイビングを練習する必要があります。

ガリレオTec SWはガリレオ標準SWと比較すると、そのダイビング表示画面にいくつかの違いがあります。



Tec SWの使用が可能な場合、メイン画面上に「O2/He」の形式で各ガスの含有量が表示されます。

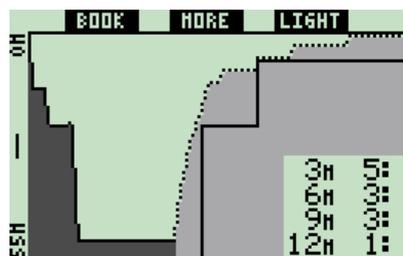
| | BOOK | MORE | LIGHT |
|----|------|-------|-----------|
| | BAR | O2/HE | MOD |
| T1 | 137 | 18/45 | 1.9-66.5h |
| T2 | 154 | 50/10 | 0.0-22.6h |
| T3 | 157 | 100% | 0.0- 6.3h |
| T4 | NO P | --% | - |
| T5 | NO P | --% | - |

ダイビング中に**MORE**ボタンを長押しするとガスの概要が表示されます。2番目のコラムはトランスミッター使用時の各タンク圧が表示されます。トランスミッターは使用中のタンクの残圧のみ送信します。5分間残圧に変化がなければ、タンク残圧を表示する部分が--表示され節電モードになります。

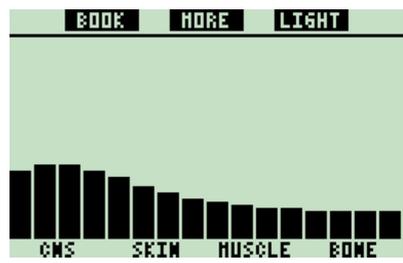
注意

その他のガリレオのトランスミッターはガスを使用しない場合でも加圧された場合は作動したままです。

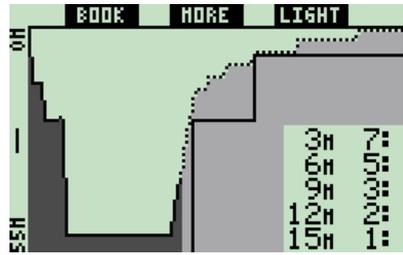
3番目のコラムはトランスミッター使用時のO2/He含有量、またはナイトロックスもしくは純酸素を使用した場合のO2パーセンテージを表示します。



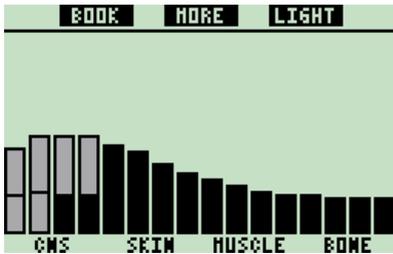
MOREボタンを軽く押すとプロフィールが表示されます。濃い部分は潜降時を表し、点線は浮上を表します。通常予測されるガス交換は浮上プロフィールで確認出来ますが、Tec SWでは段階的にミックスガスへの切り替えのオンオフが可能です。下記の図は組織の飽和状況を示しています。



組織飽和表示では標準SWでは8コンパートメント表示ですがTecSWでは16コンパートメント表示になります。



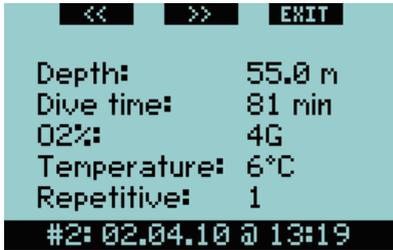
右側に表示されている情報からわかるように、そのダイビングの影響が残っている場合は浮上するにしたがって減圧停止時間が長くなります。排出が速い部位は脱飽和をはじめ、影響は下記の飽和バーグラフに示されます



脱飽和中になるとコンパートメント表示の色が黒からグレーに変わります。トライミックスを使用したダイビング中はそれぞれのバークラフがヘリウムと窒素に分けられません。

3. ダイビングのあとに

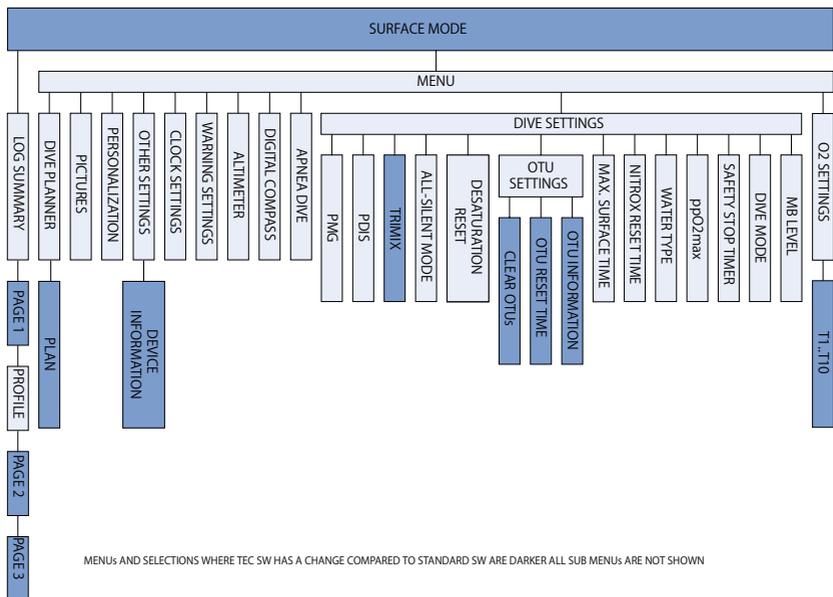
3.1 ログブック



ログリストからダイビングを選んだ後、最初のページにそのダイビングの詳細が表示されます。ガスの内容はガリレオ標準SWとは異なる表示となります。センターボタン>>を押すとガリレオ標準SWと同様に水温とハートレートのプロフィールが表示されます。再度>>ボタンを押すと次ページが表示されます。



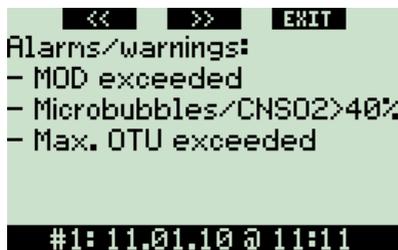
このページではOTU情報が表示され、センターボタン>>を押すと、次にガリレオ標準SWと同様にMBレベルが表示され、さらに>>ボタンを押すと、タンク情報が表示されます。



MENUS AND SELECTIONS WHERE TEC SW HAS A CHANGE COMPARED TO STANDARD SW ARE DARKER ALL SUB MENUS ARE NOT SHOWN



設定された全てのガスのタンクセッティングを確認します。別々に記録保存されています。>>ボタンを押すとダイビングで認識された警告は最後に表示されます。



OTU計測範囲外の場合は警告アラームが鳴ります。AMD/MOD違反も同様の表示がされます。

4. 設定

前ページの図はTec SWを標準SWと比較した時の相違機能をカラーマーキングで表したものです。

4.1 Trimix を可能にする- 4.2参照



MENU->Dive settings を選択します。するとアップダウンボタンでTrimixを選択することができます。さらにENTERボタンを押すと次の画面へと移ります。



+または-ボタンでONとOFFの切り替えができます。

ONにした場合、タンク設定でヘリウムは使用可能となり、ヘリウムによる演算を行うことができます。

注意

もしトライミックスを使用しない場合は、OFF設定にしてください。タンク設定やコンピューター使用での複雑さが解消されます。

4.2 タンクの設定



メイン表示(ショートカット)で左ボタンを長押し又はMENU-> O2 settings (enter)でタンクの内容を変更することができます。灰色のカーソルがハイライト表示されているときは、+ または - ボタンでスクロールすることができます。>> ボタンで、変更するタンクを選択します。

👉 注意

Tank 1は、常にダイビングを開始するときの最初のガスです。複数のタンクを設定しているときは、手動でダイビング中にガスを変更する場合や、ガリレオがガスの変更を示唆する場合があります。



カーソルがO2の値をハイライト表示しているときは、+ または - ボタンでミックスガスの酸素割合を編集することができます。O2の設定可能な数値範囲は、黒の背景で画面の下部に表示されます。>> ボタンを押すと、現在の値を選択し、ヘリウム分数に進みます。

👉 注意

タンクT1の最小のO2設定は、18%です。これは、ガス1がダイビング開始時のタンクであることの制限によるものです。

身体への酸素の十分な供給を確保するために、ダイビングの初めに使用するタンク1のガスは、十分な酸素(トライミックスまたは減圧ガスのいずれかを使用できます)が含まれている必要があります。これにより、最初の絶対最小深度(AMD)アラームは1.2メートルより浅くなります。



警告

21%未満の酸素比率のガスを使用時に水面や浅い水深で激しい運動をすると、意識の喪失などが原因となり、溺死につながる可能性があります。



カーソルがヘリウムの値をハイライト表示しているときは、+ または - ボタンでヘリウム比率を編集することができます。ヘリウム設定可能な数値範囲は、黒の背景で画面の下部に表示されます。>> ボタンを押すと、現在の値を選択し、ppO2設定に進みます。

👉 注意

ガリレオは、100%から酸素分を減算することによってヘリウム比率を計算します。



警告

ヘリウムはミックス特有の麻酔効果を軽減させてはくれますが、全くなくなるわけではありません。大深度下で"ヘリウムの震え"、またはHPNS(高圧神経症候群)と呼ばれる症状を引き起こす恐れがあります。

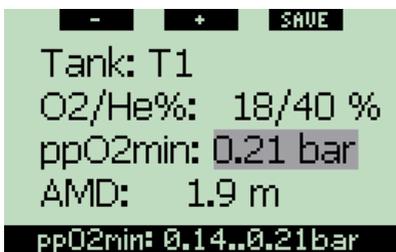


ppO2maxの値がハイライト表示されたら、+または-ボタンで酸素分圧の最大値を編集することができます。ppO2maxの設定可能な数値範囲は、黒の背景で画面の下部に表示されます。
>>ボタンを押すと、現在の値が保存されppO2minに進みます。

注: ppO2maxレベルの設定
menu -> Dive settings -> ppO2max.

警告

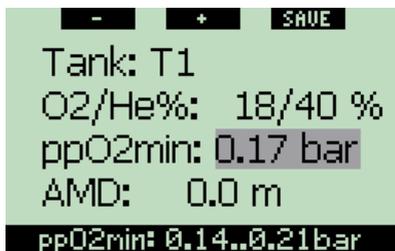
高いppO2の設定は突然の意識喪失(酸素毒性によって誘導される一般的な発作)を引き起こし、溺死につながる可能性があります。ppO2アラームをオフにすると、危険です。低酸素のトライミックスを使用することにより、各深度での酸素分圧が下がります。



ppO2minの値がハイライト表示されているときは、+または-ボタンで酸素ミックスの最小分圧の値を編集することができます。ppO2の設定可能な数値範囲は、黒の背景で画面の下部に表示されます。>>ボタンを押すと、現在の値が確定され、SAVEボタンでそのタンクの変更を保存します。

注意

ppO2minで低い値を選択することにより、下図のように0メートルのAMDを得ることができます。しかし、低酸素状態(酸素欠乏)が原因で起こる偶発的な意識消失を防ぐためにも、0.21bar以上の設定をお勧めします。

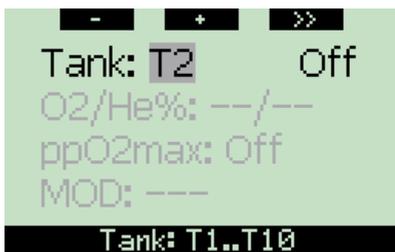


注意

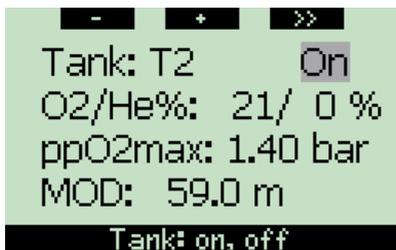
高度も酸素分圧値に影響を与えます。高い高度では周囲圧が低くなり、酸素分圧値は下がります。

警告

低酸素ミックスを使った高所ダイビングには正しく環境順応することが求められます。比較的低いppO2レベルへの順応は、身体へより多くの赤血球生成を要求するため、時間のかかるプロセスとなります。順応時間には個人差があり、直接計算することはできません。高所での気圧低下に起因する不飽和化も、もうひとつの要因です。(ガリレオメインマニュアル: 高度クラスをご参照ください)



タンク番号がハイライト表示中は、+または-ボタンでタンク番号(T2~T10)をスクロールすることができます。>>ボタンで変更するタンクを選択します。



On/Offのフィールドがグレーカーソルでハイライト表示されたら、+カーソルを使ってタンク使用可否をスクロールできます。Onがセットされると、以降のガス設定箇所がグレーから黒に変わります。>>ボタンを押して、ガスを編集します。



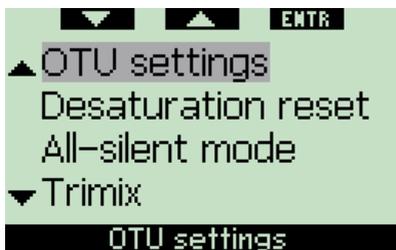
タンク2~10においては、最小酸素分率は8%です。



警告

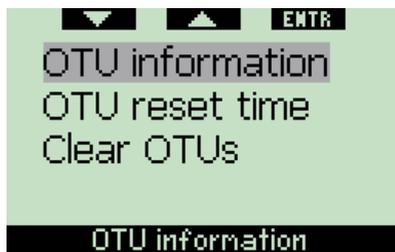
酸素割合を低く設定しても、比較的大きなMOD値が許容されることがあります。ダイビングコンピューターは、表示されたMOD地点での潜水に際し、ダイバーのスキル、経験、コンディションまでは計算できないためです。各ダイバーは、ライセンス等で認証されている深度までに限定したダイビングを行ってください。

4.3 OTU



menu ->Dive settings を選択します。

上下ボタンをスクロールし、OTU settings に合わせます。enterボタンを押し、次の画面に進みます。



上下ボタンで、OTU information、OTU reset time、Clear OTUsのいずれかを選択することができます。OTU informationに合わせenterボタンを押し、次の画面に進みます。



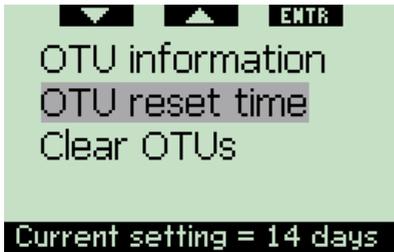
OTU表示画面には、現在のOTU関連情報が表示されます：

1. **Last dive:** 最後のダイビングのOTU
2. **Today:** 今日のダイビングのOTU/最大許容値
3. **Tomorrow:** 明日のOTU許容値(現在の状況)
4. **Total dose:** OTU合計値(ダイブ旅行など数日間連続した期間で)
5. **Exposure:** 連続期間のうちダイビングを行った日数
6. **Interval:** 最後のダイビングから経過した日数

注意

OTUは日ごとに計算されます。翌日の真夜中(00:00)に、それに応じた限度に変わります。

EXITボタンを押すことによって、OTU settingsに戻ります。



OTU reset timeで**ENTER**ボタンを押すことで次の画面が表示されます。

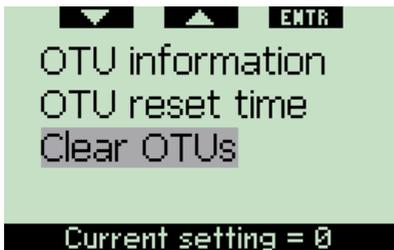


+/- ボタンを押す事によって2~30日間 OTUリセット間隔を選択できます。例えば、あなたが7日間を選択すると、OTU値と限界は7日後にダイビングなしでリセットされます。

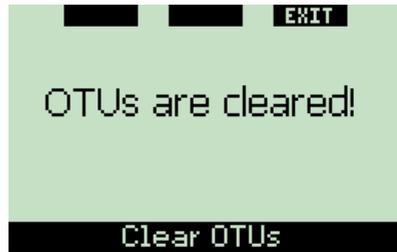


注意

リセットされた間隔に達するまで、それほどOTU値に影響を与えない短時間のダイビングでさえ、OTUsを計算し続けます。



Clear OTUsがハイライト表示のときに**ENTER**ボタンを押すと、OTUが手動でクリアされます。



この画面は、OTUがリセットされたことを表示します。EXITを押すことによって、OTU settingsに移ります。

4.4 Trimixバージョン情報

下記より、ガリレオのバージョンをチェックできます。

Menu -> Other settings -> Device information.



ガリレオTec SWを更新する場合、唯一変更されるのは以下のフィールドのみです。

SW version: xx.

インストール済みの標準SWのバージョンは1.0~4.0となるどころ、Tec SWのバージョンは5.0~となります。



4.5 Tec SWに関する追加情報

Tec SWはコード化されたHRベルトだけをサポートします。

コードNo化によりダイビング中の疑似心拍数の読み取りを減らします。ベルトには、「Polar Heart Rate Belt」のモデル名に続けて、コードが印刷されています。

4.6 Galileo Tec SWの限界値

| 限界 | 値 | 備考 |
|---------------|----------------|--|
| ゲージモード変更前最大深度 | 155 m / 508 ft | 150m/492ftで変更の警報をします |
| 最大潜水時間 | 限界無し | バッテリー容量に限定されます。しかし、水面休息時やベルダイビングには適していません。 |
| 最大ログ数 | 1 ダイブで最大24時間 | |
| 減圧停止深度 | 75 m / 246 ft | PDI Stopは75m/246ftより大深度で計算されます。 |

5. SmartTRAK(PCインターフェイス)

ガリレオTEC SWをアップデートするとSmart TRAKの古いバージョンはガリレオと通信ができなくなります。Smart TRAKの最新版はwww.scubapro.comよりダウンロードすることができます。最新版をダウンロードするとSmartTRAKはユーザーマニュアルとヘルプ機能も備えています。

6. 用語集

| | |
|------------------|---|
| AMD | 絶対最小深度。ミックスはその酸素比率に基づいて、使用することができる深度。 |
| Hypoxic | 空気より少ない酸素含有量のガスミックス。 |
| MOD | 最大行動可能深度。酸素分圧(ppO ₂)が最大許容レベル(ppO ₂ max)に達する深度。 |
| NOAA | アメリカ海洋大気庁 |
| OTU | 肺への影響に対して許可された酸素暴露を推定するために使用される酸素毒性ユニット。 |
| PDIS | プロファイル従属型中間停止 |
| PMG | 予測マルチガス |
| ppO ₂ | 酸素分圧 |
| TAT | 総潜水時間 |
| Tec SW | ガリレオシリーズテクニカルダイビングソフトウェア |
| Trimix | 酸素、窒素、ヘリウムを含んでいるガスミックス。酸素/ヘリウムで%割合を記します。 |

